

学校施設整備方針（案）を 各学校で実現する為の 検討の流れについて

■ 検討手順（案）

- (1) 府中市学校施設の整備方針（案）を構築する【資料18～22】
- (2) 各学校の個別条件を踏まえ、改築段階で学校毎に検討する

1

（参考）学校施設毎の個別条件について

学校施設ごとの個別条件一覧表を提示します。参考にご確認下さい。

NO	項目	内容
1	老朽化グループ	老朽化対策の 早い/遅い
2	一人当たり校舎面積	校舎の 広い/狭い
3	一人当たり校地面積	校地の 広い/狭い
4	一人当たり体育館面積	体育館の 広い/狭い
5	児童・生徒数	学校規模を 小規模/適正/大規模
6	児童・生徒数の将来見込み	学校規模が 大きくなる/小さくなる
7	学童の有無（小学校のみ）	学童を 新たに敷地内に取り込む/取込済
8	校舎と体育館（武道場）の建築年度差	改築パターンが 全棟改築/一部改築
9	氾濫危険校（多摩川・内水）	災害種別によつての避難所の位置付けが 変わる/変わらない
10	工事制約校（法的制約条件など）	現配置で校舎等の改築が できる/できない
11	仮設校舎の建設	仮設校舎の建設が できる/できない
12	立地（隣接）状況	学校の立地が 中心地（駅付近）/住宅地 など
13	借地	学校校地が 借地/借地でない
14	特別支援学級	特別支援学級が あり/なし
15	通級指導学級	通級指導学級が あり/なし
16	校庭の芝生化	校庭を芝生化 している/していない
17	校舎位置	校舎の位置が 東/西/南/北

2

(参考) 建築的工夫の事例紹介①

別棟S造(鉄骨系)校舎の事例

■ 検討の視点

- ・ 将来の少子化を見据えた教室構成や用途の変更、減築への対応
- ・ 想定される「別棟S造」のメリット
 - 新築時に、RC造(鉄筋コンクリート造)と比べて工期が短くなる可能性がある
 - 将来の空き教室は特別教室化し、別棟は解体または他用途へ転換もできる
 - 別棟にすることで、減築も改修も他への影響を少なく対応できる

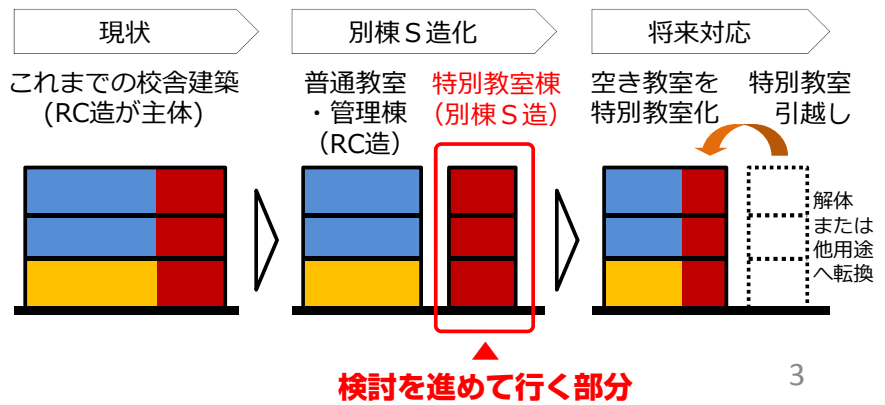
特別教室棟を別棟にした事例
(大阪府立成城高等学校)



全景

検討の方向性

凡例 ■ 普通教室関係 ■ 管理諸室関係 ■ 特別教室関係



(参考) 建築的工夫の事例紹介②

中央区立中央小学校の事例

校地が狭く、校舎の中に体育館・プールを収め、屋上に校庭を配置した事例



全景

5F	屋上校庭			
4F	小学校	普通教室	特別教室等	体育館
3F	小学校	普通教室	特別教室等	
2F	小学校	職員室		温水プール
		幼稚園		
1F	小学校	給食厨房		
		幼稚園	防災倉庫	
B1	機械室			

階構成イメージ



屋上校庭



プール

(参考) 将来の学校の配置・規模の調整

府中市公共施設マネジメント推進プランに示されている総量抑制・圧縮の方針を踏まえ、以下の方策も考えられますので、参考として提示します。

- ・改築時期が早い学校では、現在の児童・生徒数に配慮した規模を設定。
- ・改築時期が遅い学校で近隣エリアの先行改築校の状況に配慮した規模を設定。

